

■日程・開催地

2024年(令和6)年6月14日(金) 9:00-12:15

オーストリア・ウィーン開催

■出席者

【日本側】

本省： 草野 砂防部長、山田 砂防計画課付

国総研： 田中 主任研究官、金澤 主任研究官

大学： 内田 筑波大学教授 他5名

【オーストリア側】

連邦政府 農業・地域・観光省(BML)

モーザー・エルフリーデ局長、フロリアン・ルドルフ・ミクラウ部長、

アンドレアス・ピヒラー副部長、ヴァレンティン・スティルク氏

資源生命科学大学(BOKU) リンドラー・ロルフ主任研究員

インタープリメント2024代表 セレイニヒ・ノルベルト氏

通訳 モニカ・ツィグラール氏

■経緯

・2017年に両国の定期的な技術交流の推進を目的にMoCを締結。

・令和元年度以来、5年ぶりの対面開催となった。

第1回：平成29年5月18日～20日オーストリア(ウィーン)

第2回：平成30年10月5日～6日 日本(東京、富士砂防事務所等)

第3回：令和元年11月20日～22日 オーストリア(ウィーン、シュタイヤーマーク州等)

第4回：令和4年6月28日 WEB開催 ※

※当初、令和3年に日本にて開催する予定であったが、

COVID-19の世界的大流行の影響により、1年延期でWEB開催となった。

■その他

・二国間会議後、日本側出席者は在オーストリア日本大使館にて水内大使(右下写真左から5番目)への表敬訪問を行った。

■概要

・日本、オーストリア両国の土砂災害の現状、気候変動の影響及びその対策について、草野砂防部長及びアンドレアス・ピヒラー副部長から発表。

・このほか、維持管理、観測技術の2テーマについて両国より発表し、意見交換。

【総括(主な内容)】

・気候変動による自然災害は世界共通の課題であり重要な意見交換となった。

・山岳地帯における施設維持管理・観測技術などは両国共通の課題であり、両国で継続的な議論を行うことの重要性を共有することができた。

【MoM(Minutes of Meeting)】

①両国は、土砂災害防止に関する行政、研究、技術に関する議論を継続する。

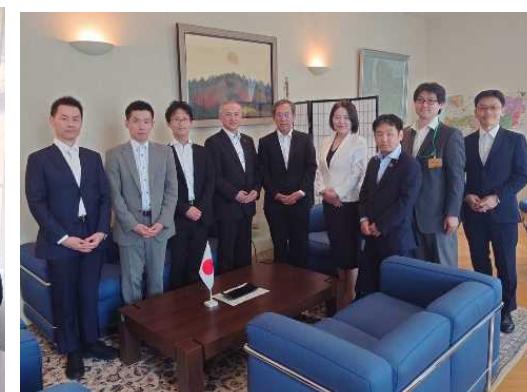
②日本が次回の会議を2026年に開催する。



砂防部長によるMoM締結



会議中の様子



在オーストリア日本大使館表敬訪問